

多可中学校グランドデザイン（案）

1 多可中学校グランドデザイン検討の流れ

多可町教育委員会（教育長）
基本理念（設定にあたって）

（提示） 1 1 月



（検討） 1 2 月～ 6 月

教育・事務部会（学校経営部会）				
1 回（1 2 月）	2 回（1 月）	3 回（2 月）	4 回（3 月）	令和 7 年度
・ 検討方針 ・ グランドデザインの内容 ・ 検討スケジュール	・ 校訓 ・ めざす学校像 ・ 学校教育目標 ・ めざす生徒像 ・ めざす教師像	・ 学校経営方針	・ 重点施策 ・ 努力目標	・ 組織・運営体制 ・ 校務分掌 ・ 教育課程

2 多可中学校の学校教育目標等の設定にあたって（教育長）

これまで長く育まれた 3 中学校「(中町中学校、加美中学校、八千代中学校)」が令和 8 年度に統合・開校する多可中学校の学校経営方針等の設定するにあたり、以下の 4 つの指針等をベースに、新しい統合中学校にふさわしい、時代に合った校風を、生徒、教職員、保護者、地域とともに「みんなの学校」として創りあげていきたい。

その 4 つの指針の一つ目は、国の示す第 4 期教育振興基本計画の二つのコンセプトである「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」です。

二つ目は、兵庫県の第 4 期ひょうご教育創造プランでの教育理念「兵庫が育む（ふるさと力） ところ豊かで（つながり力） 自立する人づくり（自分力） 絆を深め（つながり力） 在りたい未来を創造する力（ゆめ力）の育成」です。

三つ目は、第 2 次多可町教育ビジョンの教育理念「明日の多可町を担うところ豊かな人づくり」、重点目標「ふるさとを愛し（ふるさと力）、自らの夢や目標に向かって（ゆめ力）、たくましく生きる（自分力）、ところ豊かな（つながり力）子どもの育成」です。

四つ目は、3 つの中学校の学校教育目標です。

中町中学校：「思いやり、支え合い（つながり力）、たくましく（自分力）、未来を生き抜く（ゆ

め力) 生徒の育成 「凡事徹底」～時を守り 場を清め 礼を正す～

加美中学校:「いのちと人権を大切に(つながり力)、ふるさとを愛し(ふるさと力)、こころ豊かなで(つながり力)、夢に挑戦する(ゆめ力)、自立した(自分力) 生徒の育成」

八千代中学校:「優しく(つながり力)、賢く、逞しく(自分力) ～未来を切り拓く(ゆめ力) 生徒の育成」

そして、さらに激しい社会の変化が進む中で、課題を解決していく力を養うために、多可町の子どもたちに3つの能力「認知能力(学力・知識理解)」「思考系能力(思考力・判断力・表現力)」「非認知能力(ふるさと力・ゆめ力・自分力・つながり力)」を育み、生徒たちが自立心を持ち、自らの夢や目標に向かって、自己の可能性を切り拓いていく態度・人間性が求められます。

このような状況において、多可町における、人づくり・まちづくりは、学校においては「地域とともにある学校づくりを、地域においては「学校(子ども)を核とした地域共生づくり」をめざし、学校と地域が連携・協働して地区や世代を超えた交流の場を創り出しながら、以下の人づくり・まちづくりの取組を進めます。

就学前のこども園等においては、地域の中で多可町の豊かな自然の中で体験する浸る活動
小学校においては、生活科や総合的な学習の時間等の学びを中心に、多可町の「ひと」「もの」「こと」に出会い関わりを通して、多可町のよさを感じ、周りに発信する活動

中学校においては、総合的な学習の時間を中心とした学びの中で、ふるさと多可町の魅力はもちろん地域の現状や課題を知り、自分たちができることを考えて地域のために行動し貢献する活動

コミュニティ・スクールにおいては、地域住民、保護者、教職員等が集い熟議を通して、学校がめざす子ども像や育成に向けて活動のアイデアを出し合い実行する活動

地域クラブにおいては、地域住民や中学生がともに活動する中で絆を深め学びの楽しさを共有し生きがいに繋げる活動

地域においては、学校を核として子どもたちと世代を超えた交流の場を創りながら地域の方々同士が絆を深め困っていることを共有し、連携協働して共生を進めていく活動

そのためにも、多可中学校の学校経営方針(めざす学校像)の設定にあたっては、「学力・知能」で示される「認知能力」の育成はもちろんながら、「やる気・忍耐力・協調性・自制心など」の人の心や社会性に関係する力を意味する「非認知能力」の育成を踏まえて進めていかなければならない。

3 校訓・めざす学校像・学校教育目標・めざす生徒像・めざす教師像

(1) 校訓について

- ・多可中学校が進める教育活動の骨格となる4つの力（①自分力 ②ゆめ力 ③つながり力 ④ふるさと力）の象徴。
- ・言葉（漢字）の持つ意味、示す内容が端的で理解しやすい。
- ・生徒・保護者にわかりやすく、なじみやすい（シンプル）。

校訓 自主 共創 愛郷

(2) 「めざす学校像」について

- ・学校経営・方針の中・長期計画の視点にたった目標とする。

- ・生徒一人一人が大切にされ、安心して学べる学校
- ・キャリア教育の視点に立ち、夢や希望を育む学校
- ・地域に愛され、地域に貢献し、地域の元気のよりどころとなる学校

(3) 「学校教育目標」について

- ・学校経営・方針の短期計画の視点にたった目標とする。
- ・3つの中学校が一つに集まり（統合）、新たに伝統を築き上げていく出発のための経営の方向性を示す。

ふるさとを愛し、共に夢や目標に向かって逞しく生きる、こころ豊かな生徒の育成

(4) 「めざす生徒像」について

- ・4つの力を自覚し、進んで取り組もうとする態度・行動を示すようにする。

- ・自ら主体的に考え、行動する生徒
- ・自他を大切にし、共に未来を切り拓く生徒
- ・ふるさとや学校を愛する生徒

(5) 「めざす教師像」について

- ・新たな学校づくりへの使命感、責任感等を示すようにする。

- ・生徒理解に努め、個々の生徒を鍛え伸ばす教師
- ・自己研鑽に励み、授業力の向上に努める教師
- ・仲間と協働して、チームで取り組む教師
- ・地域から信頼され、家庭と一緒に子どもを伸ばす教師

4 学校経営方針

- ・学校経営方針は、方針内容（説明）及び項目（事項）の2つからなる構成とする。
- ・素案をもとに今後フィードバックをしながら検討を重ね、主要施策・努力目標の内容検討と並行して6月を目途に調整する。

（素案）

内容説明 ↓ ↓ ↓ ↓ 項目・事項 ↓	多可中学校学校経営方針 令和8年、多可中学校として統合・開校するにあたり、これまで長く育まれた中町中学校、加美中学校、八千代中学校の良き伝統を継承しつつも、新校、多可中学校が母校となる子どもたちにとって、旧習にとらわれることなく、新しい中学校にふさわしい時代にあった校風を、生徒、教職員、保護者、地域とともに「みんなの学校」として創りあげていくことが求められています。 子どもたちにとって家庭以外で多くの時間を過ごす場が学校であり、「分かった。できた。」と実感できることが何より大事です。そのため、「教えることはしっかり教え、生徒自ら主体的に学べる学校」、「生徒の姿をしっかりと把握し、認め励ます教育を展開する学校」でなければなりません。 義務教育最後の3年間を育てる学校、未来社会の創り手となる学びと育ちを支える学校として、未知の状況にも対応できる「生きる力」を生徒たちに育まなければなりません。 そのためには、「学力・知能」で示される「認知能力」の育成はもちろんながら、「やる気・忍耐力・協調性・自制心など」の人の心や社会性に関する力を意味する「非認知能力」の育成を踏まえて取組を進めていきます。 また、多可町の唯一の中学校として全校一丸となって「地域とともに歩む開かれた学校」、教職員がチーム力を発揮できる元気な活力のある「信頼される学校」をめざします。 (1) 人権尊重の精神を全教育活動の基底に据え、豊かな心を育み、生徒一人一人の自己実現をめざす教育活動を進めるとともに、生徒同士、生徒と教職員間の温かな人間関係づくりに努めます。 (2) 生まれ育った多可町をよく知り、ふるさと多可町を愛し、誇りに思う生徒の育成に努めます。 (3) 「生きる力」を育む教育課程を編成し、学校教育目標の具現化に向けて学習支援、生徒指導、地域・保護者等への取組を学校あげて進めます。 (4) 確かな学力の定着を図るために、指導方法の創意工夫と改善に取り組みます。
---	--

	(5) 体力向上や健康・安全・防災教育、生徒の視点に立った指導の充実を進めます。 (6) 校区小学校との緊密な連携を図るとともに、家庭・地域とともにある学校づくりを進めます。 (7) 教職員は生徒・家庭・地域の期待に応えるべく、使命感や責任感、教育や教科に関する専門的知識、実践的指導力などの向上を図るため自己研鑽に努めます。
--	---

5 重点施策・努力目標

※次回部会（3月）で検討